

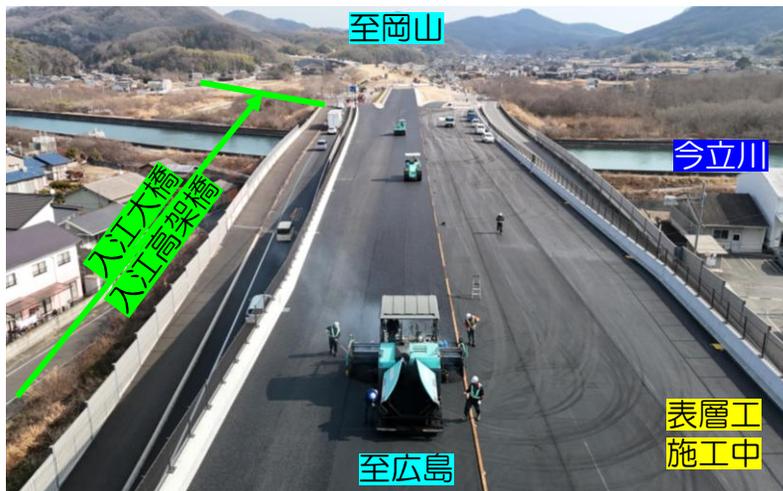
## 令和6年度笠岡バイパス入江地区舗装工事 現場技術者インタビュー

～インフラを支える「現場技術者」に迫る～

岡山国道事務所が発注する工事現場で活躍する現場技術者に、仕事の魅力や思いを聞きました！  
道路を守り、未来を支える人の声を定期的にご紹介します！



この道の先に  
**NIPPO** 磯貝(いそがい)さん



### Q1. まずは自己紹介をお願いします。

株式会社NIPPOの磯貝 潤 (いそがい じゅん) です。現在、笠岡バイパスの入江地区において舗装工事の現場代理人を務めています。

工事全体の工程管理や安全管理、発注者との調整などを担当しています。入社して約10年経ちますが、今回、改築の現場を現場代理人の立場で進めるのは初めてなので、日々学びながら業務に取り組んでいます。

### Q2. 今回担当している工事について教えてください。

笠岡バイパスは、倉敷福山道路（約55km）の一部であり、完成すれば国道2号の代替ルートとして、災害時の迂回性向上につながります。また、輸送の安定化も図られ、産業活動にも良い影響を与えることが期待されています。今年度開通区間では、道の駅「笠岡ベイファーム」へのアクセスが改善され集客力の向上も見込まれています。

### Q3. 工事を進める上で工夫していることはありますか？

当工事現場は、幅員が約30mもある非常に広い橋梁部の舗装工事です。一般的な橋梁部の幅員は2車線で約9.0m程度ですが、今回はその3倍以上の広さがありますので、舗装の打ち継ぎ目の位置を慎重に検討して施工に臨みました。

例えば、区画線（白・黄色の線）や車線分離標（赤いポール状のもの）を設置した際に、打ち継ぎ目が見えないように工夫して施工しています。

また、今回の施工では、打ち継ぎ目の位置出しに自動マーカロボットを活用しました。従来は、測量機や巻き尺で位置を出していましたが、GPSを搭載したロボットの導入により効率が大幅に向上し、作業負担の軽減や精度の向上が図れました。



#### Q4. 現場代理人としてのやりがいは何ですか？

岡山県の巨大プロジェクトに参加できていることにとってもやりがいを感じています。当社でも、新設の道路工事を担当できる機会が多くありませんので、今回バイパス工事に関わることができ本当に良かったと思っています。完成後は地図にも残る仕事ですので、一生の思い出になると感じています。



#### Q5. 印象に残っているエピソードは？

地元の保育園の子どもたちや先生方、入江地区の自治会の皆さんをお招きして、橋梁のコンクリート床版上でのお絵描きイベントを開催いたしました。その際、重機や高所作業車の試乗体験も行い、特に高所作業車の試乗体験は大人気で、もう一回乗りたいというお子さんも多くいらっしゃいました。

開通前のイベントとして、地元の方々と交流するのは初めての経験なので、とても印象に残っています。



開通前イベント

#### Q6. 今後の目標や若い人へのメッセージをお願いします。

今後の目標は、「自分の仕事が誰かの日常を支えている」と実感できる道づくりを続けていくことです。

道路舗装の仕事は、人や街、そして未来のために残る大切な仕事です。若い皆さんの力が、これからの道路づくりを支えていきます。ぜひ一緒に、より良い道路をつくっていきましょう！



開通前イベント



取材：経理課H

磯貝(いそがい)さん



この道の先に  
**NIPPO**



岡山国道事務所は今後も受注企業と連携しながら道路整備を進めていき、岡山の道の未来を支えていきます！  
次回のインタビューもお楽しみに！

インタビューのご協力ありがとうございました！

従来の方法から刷新した施工技術を積極的に活用されており、さまざまな工夫を凝らして施工に臨まれていました。印象に残っているエピソードで語られていた開通前のイベントは、地元の方に「道づくり」を身近に感じてもらえることと同時に、携わっている方がやりがいを再発見できる素敵な機会になっていることがわかりました。このようなイベントのように、完成時や開通時以外にもやりがいを実感出来る機会が多様化していけば、建設業がさらに盛り上がるのではないかと感じました。お忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。



次回に続く・・・